

## 南アルプス 光岳～上河内岳

### 日時・ランク・天候

日時：2012年8月3日（金）～7日（火）

ランク：C-C-8

天候：1日目は曇り、2日目以降は晴れ後曇り

参加者：男性のみ5名

### コースタイム

集合 新横浜駅 6:52 発こだま号5号車内

解散 静岡駅新幹線改札口 13:30

- 3日 新横浜駅 6:52 - 7:54 静岡駅 8:00 … 8:05 レンタカー事務所 8:15  
- 11:55 畑薙第一ダム ゲート 12:20 … 12:55 畑薙大吊橋 13:00 … 13:30 ヤレヤレ峠 13:35  
… 14:35 ウソッコ沢小屋 14:40 … 15:30 中ノ段 15:35 … 16:10 横窪沢小屋
- 4日 小屋 5:30 … 6:20 倒木ベンチ 6:25 … 6:45 樺段 6:50 … 7:25 茶臼小屋 7:50  
… 8:25 茶臼岳 8:35 … 9:20 仁田岳 9:25 … 9:35 希望峰 9:40 … 10:25 途中 10:35  
… 10:55 易老岳 11:15 … 12:10 三吉平付近 12:20 … 13:15 イザルガ岳 13:20  
… 13:35 光岳小屋 13:50 … 14:05 光岳 14:10 … 14:20 光石 … 14:45 光岳小屋
- 5日 小屋 5:05 … 6:15 三吉ガレ 6:20 … 7:05 易老岳の少し南 7:10 … 8:10 希望峰 8:15  
… 8:55 茶臼岳 9:00 … 9:15 茶臼小屋分岐 9:20 … 10:05 奇岩竹内門 10:10  
… 10:45 上河内岳 10:50 … 11:15 奇岩竹内門 11:20 … 11:45 途中 11:50  
… 12:05 茶臼小屋分岐 12:10 … 12:15 茶臼小屋
- 6日 小屋 5:10 … 5:45 倒木ベンチ 5:50 … 5:55 大無間岳展望ベンチ 6:00  
… 6:25 横窪沢小屋 6:35 … 6:55 中ノ段 7:00 … 7:35 ウソッコ沢小屋 7:45  
… 8:20 ウソッコ沢 8:25 … 8:50 ヤレヤレ峠 8:55 … 9:20 畑薙大吊橋北 9:25  
… 10:00 畑薙第一ダム ゲート 10:20 - 10:30 南アルプス赤石温泉「白樺荘」
- 7日 宿 8:00 - 11:30 レンタカー事務所 11:45 … 11:50 静岡駅 13:37 - 14:22 新横浜駅

### 報告事項

- 長野県側の登山口である易老渡に至る林道は、土砂崩れのため来年まで不通です。
- 静岡県側の南アルプス公園線は、土砂崩れのため来年まで不通で、登山バスは運休中です。県道27号線の口坂本温泉経由でタクシーまたはレンタカー利用となります。
- 光岳小屋近くの静高平の水場は枯れています。
- 茶臼小屋は光岳往復で2泊する人が多く、大変混雑しています。横窪沢小屋が空いていてお勧めです。
- 光岳小屋は自炊ですが、空いていてお勧めです。
- 茶臼岳、仁田岳、イザルガ岳、上河内岳からの展望は素晴らしいものです。

### 山行記

#### 1日目〔畑薙第一ダム～横窪沢小屋〕合計歩行時間：3時間35分

新幹線で静岡駅まで行き、レンタカーを借りて登山口のある畑薙第一ダムゲート（南アルプス登山

指導センター) 向かう。予め静岡市のホームページで調べて、南アルプス公園線の富士見峠付近が昨年から土砂崩壊のため不通になっていることは知っていたが、安倍川沿いの安倍街道を進んで行くと玉機橋の交差点の所に「この先通行止」との看板が立っている。

迂回路がないようなので、経路を変更することにし、一旦安倍川下流に戻り、国道 362 号線(薫科街道)に入り、大井川鉄道千頭駅方面に向かう。そこから大井川沿いに進み、接岨峡温泉を過ぎて閑蔵まで行くと、工事のため時間を区切って通行止めになっているとの看板が立っている。誰もいないのでそのまま先に進むと、あと僅かで畑薙第一ダム方面に行く道に合流する所で通行止めの柵が置いてあり、作業員が立っている。12 時まであと 1 時間と少しの間は普通とのこと。玉機橋の交差点の所からは県道 27 号線で口坂本温泉経由して井川ダムまで通ることができるとの説明を受ける。再び戻るのには却って時間が掛かるので仕方なく 12 時まで待つことにする。

少し待っていると 11 時に無線連絡があり、待機車があるのなら通すとの連絡があったそうで、運よく先に進むことができる。静岡市井川支所付近に行く携帯が通じるので、井川観光協会に電話して、遅れるものの必ず横窪沢小屋に行くことを伝え、小屋に連絡を取っていただくようお願いする。

何とか畑薙第一ダムゲートに 11:55 に到着し、弁当を食べてストレッチをしてから歩き始める。畑薙大吊橋まではコースタイム 40 分の林道歩きだ。東海フォレストの送迎車などの車両が通ると砂煙を上げて行くので堪らない。30 分ほど歩くと上流に大きな吊橋が架かっているのが見えてくる。畑薙大吊橋だ。

吊橋まで行くと長さが 181.7m と書いてある。当初は渡る板の部分の幅が 20cm だったそうだが、今は幅 40cm くらいの鉄になっている。また、定員は 15 名となっている。平成元年 3 月 25 日完成なので、既に 23 年も経っている。渡り始めると結構揺れる。少しずつ間を開けて進む。渡るのに何分か掛かる。渡り終えた西側でストックを出す。

少しの間は急登が続く。それが終わると幅の狭いザレたトラバース道となり、慎重に歩いて進む。30 分ほどでヤレヤレ峠に着く。何とも言い当てた名前の所だ。休憩の後、先に進むと少しずつウソッコ沢に下って行く。このルートもザレたトラバース道だが、幅が少しだけ広い。

15 分ほどで沢に出る。3 つの吊橋で沢を 3 度渡り、沢沿いの道を進むとウソッコ沢小屋に着く。以前は有人だったそうだが、今は無人避難小屋だ。沢の方にトイレ棟が 2 つある。少し先に管から水が勢いよく出ている。飲んでみると冷たくて美味しい。

また吊橋を渡ると急登が始まる。急な箇所には 4 基の鉄の階段が付けられている。これがなければかなり大変なルートだ。さらに急な斜面にジグザグに付けられた道を登って行くと、やっとなだらかな所に出るので休憩を取ることにする。そこには「中ノ段」と書かれた標識がある。ちょっとしたベンチもある。コースタイムで見ると宿泊予定の横窪沢小屋まで 50 分となっている。何とか夕食に間に合う時間に着きそうなので一安心する。

そこからはそれほど急ではない道を進み、30 分ほどで横窪峠に着く。下に沢が見えて、少し下ると小屋も見えてくる。横窪沢に架かる鉄の橋を渡って少し登ると横窪沢に着く。比較的新しい小屋だ。受付をして、ストレッチをしてから中に入る。こじんまりした小屋だが、宿泊客は少ないようで、ゆったりと使える。水は豊富で冷たくて美味しい。トイレもきれいだが、さらにバイオトイレを作る工事をしている。

夕食まで少し時間があるので、缶ビールを買って乾杯し、歓談する。夕食は 17 時から始まる。食堂の座席は 12 名だが、我々 5 名を含めてちょうど 12 名の宿泊客だ。メニューはメインがハンバーグだ。食前酒の梅酒も付いていて、なかなか美味しい。

夕食後に少し歓談の後、18 時半には就寝の準備をする。トイレに行く前に外に出ると工事の作業員の皆さんが歓談している。その中に入って少しお話をする。

## 2 日目 [横窪沢小屋～茶臼岳～光岳小屋] 合計歩行時間：7 時間 15 分

朝食は 5 時からとのことだったので、4 時起床とし、朝食前にパッキングなどの準備を済ませてお

く。朝食は5時10分前から始まる。塩じゃけがメインでなかなか美味しい。

歩き始めから急斜面のジグザグ道だ。50分ほどで茶臼小屋までの中間点にある倒木ベンチに着く。名前のとおり倒木がベンチとして横たわっている。さらに20分ほどで樺段に着く。南アルプス南部の尾根に至る登山道には「○段」という地名がよくあるみたいだ。このルートでは中ノ段に続いて2つ目だが、樺島から赤石小屋に至る登山道にも同じ樺段があるし、樺島から千枚小屋に至る登山道には蕨段がある。意味合いはよく分からない。

しばらく登るとお花畑になり、茶臼小屋が近いことが表示してある。まもなく茶臼小屋に着く。小屋の方がお茶とお菓子でもてなしてくれる。ここからは富士山がよく見えて良い位置にある小屋だ。

小屋の方のお話では、静高平の水場には水がないということなので、ここでたっぷりと水を汲んで担いで行くことにする。25分と長めの休憩を取ってから出発する。15分ほど登ると縦走路に出る。素晴らしい展望が待っている。正面には恵那山から中央アルプス・御嶽方面の山々が連なっている。右を見ると、兎岳・聖岳がそびえている。上河内岳は山頂付近だけが見えている。左を見るとこれから登る茶臼岳がすぐ近くに見える。

20分ほど登ると茶臼岳の頂上に着く。「茶臼岳 2,604m」と書かれた立派な標石が立てられている。先ほどの展望に加え、富士山の左手に策ヶ岳方面の尾根や、これから目指す光岳方面が見え、目を凝らすと兎岳の左に北アルプスが見える。槍ヶ岳が見えるので間違いない。

歩き始めると進行方向の下に仁田池とその先の湿地帯に架かる木道が見える。一旦仁田池まで下り、木道を進み登り切ると希望峰に着く。ここは木々に囲まれていて展望がない。ザックをデポして空身で仁田岳に向かう。仁田岳には木が生えておらず展望の良い所だ。茶臼岳とほぼ同じ展望だが、北アルプスがよりよく見える。また、光岳方面に至る縦走路が見える。記念撮影してから希望峰に戻る。仁田岳はパスした石上さんが待っている。

希望峰から標高差約150m下ると、比較的なだらかな道が続く。途中で小休止してから20分ほど登ると易老岳に着く。ここも樹林の中で全く展望がない。ここで昼食とする。

易老渡への分岐には特段の表示がない。林道が通行止めなので下りても帰ることができないのは分かっている前提なのだろう。

ここから先は2007年10月に歩いているが、光岳小屋手前のセンジュ原まではあまり良い所はない。三吉ガレまで標高差約130mを下り、多少のアップダウンを繰り返し、三吉平から標高差約250m登って静高平に着くと、確かに水は一滴も出ていない。さらに少し登るとセンジュ原入口のイザルガ岳への分岐に着く。

ザックをデポして空身でイザルガ岳に向かう。頂上は平らな砂地になっている。イザルガ岳はイザルヶ岳とも書くようだが、名前の由来は調べても分からなかった。午後になったのでガスが掛かってきて、聖岳方面は山頂が隠れている。残念なことに富士山は見えない。センジュ原の先にある光岳小屋と光岳がよく見える。ここからの展望が素晴らしいのだが、残念だ。

分岐まで戻るとイザルガ岳往復をパスした石上さんが待っている。センジュ原の木道を通って進むと約10分で光岳小屋に着く。受付をして荷物を置いてから、サブザックで光岳に向かうことにする。出初めに光岳方面から大きなザックを担いだ大勢の若者がやって来る。数えると16名いる。尋ねると東大ワングルのパーティで、池口岳を越えて縦走してきたとのこと。今日はここに泊まるが。テント泊縦走で北岳を越えて広河原まで行くという。

15分ほどで光岳頂上に着く。ここからは展望がない。10m先に展望台があると書かれている。記念撮影をしてから展望台に行く。西側の展望があり、光岳の名前の由来となった光石（てかりいし）が見える。

時間があるので光石まで行くことにする。北西に下って行き、加加森山・池口岳方面への道を右に分け、左手に下って行くと、光石の上に出る。確かに白っぽい岩だ。陽が当たると反射して光るのだろう。全体は大きいがたくさんひびが入っていて、割れて崩れているようだ。写真を撮ってから光岳まで登り返す。

光岳小屋手前の分岐で南は柴沢吊橋まで 280 分と書かれている。しかし、光岳小屋の前には柴沢吊橋から寸又峡温泉に至るルートは崩れていて現在は通行止めと表示されている。正面には百俣沢ノ頭が見えている。

光岳小屋に戻ると、この日はテント泊の人は結構いるものの、小屋に泊まる人は我々の他には 2 名しかいないとのこと。ゆったりと泊まることができると分かる。この小屋は 3 名以内・全員 50 歳以上・15 時前に到着の場合だけ食事付きをお願いできるものの、自炊が原則だ。このため、百名山を目指す登山者の多くは易老渡からの往復をするようだ。今年は易老渡に至る林道が通行止めなので、ほとんどの人が茶臼小屋からの往復をするようだ。このお蔭で光岳小屋はガラ空きなのだ。

早い到着なので、着替えや荷物の整理をしてから、自炊のできる食堂に行き、缶ビールで乾杯し歓談する。しばらく歓談し、そのまま夕食の準備に入る。夕食はお湯だけ沸かして調理できる食料を各自が準備することにしてある。このため、ほとんどの人はアルファ米を持って来ている。

水が心配だったが、小屋の管理人さんが自炊の宿泊者だけには水を無料で分けてくださる。小屋の南に下った所にある水場は枯れないのだそうだ。ジュースは売っているものの、水は売っておらず、泊まらない人たちには水場を往復するように指導しているそうだ。急斜面の往復 15~20 分は結構きついだらうと思う。

早い夕食だったので、18 時には就寝とする。

### 3 日目 [光岳小屋~上河内岳~茶臼小屋] 合計歩行時間：6 時間 20 分

4 時起床とし、朝食も自炊する。食堂からイザルガ岳の右に富士山が見えて、東の空が次第に明るくなっていく。5 時が近くなると空が赤くなっていく。ちょうど太陽はイザルガ岳の影に上るようだ。

ストレッチをして 5 時過ぎに出発する。三吉ガレまで行くと北西方面の山々がよく見える。この日も天気が良い。茶臼岳に登る途中で畑薙湖が見える。頂上の手前で東大ワングルのパーティに追い越される。茶臼岳頂上からの展望は前日同様に素晴らしい。記念撮影をしてから先に進む。

茶臼小屋分岐付近には方位盤がある。分岐にザックをデポし、サブザックで上河内岳まで往復する計画だ。まずは 2,555m の小ピークを少し登り西側を巻いて標高差 60m ほど下って行く。細長い窪地状になった亀甲状土を通して行く。亀甲状土とは礫質多角形土で、化石地形の一種で、天然記念物に指定されているそうだ。他には大雪山や本白根山の鏡池にあるそうだ。この付近には高山植物も多く種類も豊富だ。

正面に見える上河内岳はガスに包まれたり現れたりを繰り返している。途中で畑薙湖が見える。しばらく登ると奇岩竹内門が見えてくる。近づいてみて初めて奇岩の意味が分かる。岩の表面にはたくさんの細い筋が付いている。褶曲の際に付いた模様で、風雨による風化と浸食によって柔らかい泥質の部分だけが削られて硬い珪質の部分だけが残ったのだそうだ。登山道はその間を通る。

この付近にはイワツメクサ、タカネツメクサ、チシマギキョウなどがたくさん咲いている。上河内岳の肩まで登って行くと、聖平に至る縦走路と聖平小屋が見える。上河内岳まではジグザグのザレた道を登るようだ。

10 分ほどで上河内岳の頂上に着く。残念ながら頂上に着く頃にまたガスが上がってきて展望をかなり隠してしまう。記念撮影をしてから下山する。

元来た道を通り、お昼過ぎに茶臼小屋分岐まで戻ってくる。茶臼小屋には 12:15 と早い到着になる。受付をしてから、ストレッチを済ませ、外のテーブルで昼食とする。結構疲れているのでゆっくりと食べる。水場に冷やしてある缶ビールは人気でどんどん数が減っていく。

小屋の周りには高山植物が多く、花の種類は上河内岳付近とは違って、ハクサンフウロ、イブキトラノオ、ミヤマキンボウゲ、タナネトリカブト、ミヤマシシウド、タカネマツムシソウ、クルマユリなどが咲いている。

この日は宿泊客が多いので詰めて泊まるように言われ、指定された 2 階の上段に上がって荷物を置く。しかし、しばらくするとツアー登山者が到着し、話を聞くと別の 40 名のツアー団体がキャンセ

ルのため来ないと言う。聖岳に登る途中で倒れた人が出て結局死亡したとのこと。滑落とかではなく、歩いていて急に倒れたので病氣らしいという。その場所が樹林の中でヘリからは見えにくかったらしい。上河内岳に登る際にヘリコプターが長い間飛んでいたのが遭難かなあと saying いたが、やはり何かあったのだ。

夕食は第1回目が4:30からで、早い到着の我々はこの時間だ。メインはカジキマグロの刺身だ。40名も急にキャンセルになってどうするのだろうと思う。聖平小屋は逆に40名増えたので大変だろうとも思う。同じ静岡井川観光協会の経営する小屋なので何とかあったのだろうとも思う。夕食後、小屋のテレビに映っている天気予報では、翌日は曇り後雨とのこと。早い下山が良いと思う。

40名キャンセルの影響で宿泊場所の配置換えがあるのかと思っていたが、そういう話はなく、夕方になる。上の段は結局我々5名だけとなったので、シュラフをずらして広く使うことにする。17:30から就寝の態勢となる。

#### 4日目〔茶臼小屋～畑薙第一ダム～白樺荘〕 合計歩行時間：4時間00分

朝食は4:30開始なので、3時半頃に起きて、ザックのパッキングなどの準備をする。朝食後に外に出ると、富士山方面の空が赤くなっているが、雲が結構ある。ストレッチをしてから出発する。

曇っているので下山は却って暑くなくて楽だ。途中に大無間山方面の見える所がありベンチがある。登るときには気が付かなかったのだが。順調に横窪沢小屋まで下り、トイレを利用する。

ウソッコ沢小屋の手前の鉄階段を過ぎるとウソッコ沢小屋が見えてくる。吊橋を渡るとウソッコ沢小屋に着く。ウソッコ沢小屋の中を覗いてみると、土間の両側に板の間があるだけの簡単な造りだ。ここでもトイレを利用して、先に進む。

ヤレヤレ峠に登る前にウソッコ沢で一息入れる。また、ヤレヤレ峠でも休憩を取って、トラバースを慎重に進む。

畑薙大吊橋を渡るともう一安心だ。雨には遭わず曇っているので暑くはない林道歩きだ。車のあるゲートにはちょうど10時に到着する。非常に早い下山終了だ。

ストレッチの後、車で南アルプス赤石温泉「白樺荘」に着く。2009年7月にオープンした静岡市営の宿泊温泉施設だ。以前の白樺荘よりは少し下流に建てられている。2010年に聖岳・赤石岳に登った際にも下山後に泊まっておき、新しく料金安いので再度利用することにしたのだ。

今回は5人なので2人部屋3室を予約してある。部屋に荷物を置いてから、まずは温泉入浴だ。その後、食堂に行き、生ビールなどで乾杯し、ゆっくり昼食をいただく。やはり、下山後の温泉とマナビールは格別だ。

この施設は日帰り入浴もできるので、たくさんの登山者で賑わっている。光岳小屋で会ったテント泊の単独男性はここから毎日アルペン号で帰路につくとのこと。広河原から縦走して光岳小屋まで行って、茶臼小屋からウソッコ沢を下って白樺荘まで歩いたとのこと。

夕食までかなり時間があるので、部屋に戻ってテレビでオリンピック観戦だ。これまでの状況も確認する。また、荷物の整理をする。夕食は18時からなので17時頃にもう一度温泉に入る。

夕食では各自アルコールを注文し再度乾杯する。その後、談話室に移って缶ビールなどで歓談し、19時半頃にお開きとする。

#### 5日目〔白樺荘からの帰路〕 合計歩行時間：なし

朝起きてから、まずは温泉に入る。この日は天候が晴れで、露天風呂から茶臼岳が見えている。朝食は7時からなので、それまでの間、外の遊歩道を散歩する。畑薙第二ダムの人造湖の手前に展望所があり、そこまでの短い遊歩道だ。道の脇に白いホタルブクロや黄色の花が咲いている。白樺荘の玄関前にはたくさんの花が植えてあるが、これらは高山植物ではない。

朝食後に準備をしてからレンタカーで静岡駅に向かって出発する。今度は宿の方に教えていただいて、大井湖を渡って県道27号線経由で口坂本温泉を通過して行くルートで行く。狭い道で大型バスも

通っているのでびっくりする。

お昼頃に静岡駅近くのレンタカー会社の事務所に到着する。静岡駅ビルの中の海鮮居酒屋で昼食兼反省会とし、みんなが生ビールで乾杯する。

13:37 発のひかり号に乗って帰路につき、早い帰宅となる。

4日間合計の歩行時間は21時間10分となり、コースタイム27時間30分と比べ、77%の時間で歩いたことになる。それほど急いで歩いたつもりはないが、尾根コースは日本百名山を目指す登山者が多いので、無理し過ぎないように長めのコースタイムになっているものと思われる。